

エコアクション21 環境活動レポート



第 7 版

(令和 2 年 6 月 24 日発行)

運用期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月



株式会社 **オカムラ**

〒869-0532 熊本県宇城市松橋町久具1948-1
TEL. 0964-33-0131 FAX. 0964-33-0985
<http://www.okamura-tmc.co.jp>

1. 環境方針および行動指針

環境方針

株式会社 オカムラは、事業活動を通じ、安心・安全・安定した地域社会実現のため環境に関する行動指針を定め、完遂に向け邁進します。

行動指針

環境方針の実現に向けて以下のことを行動指針と致します。

1. 循環型社会の構築に向け、先進技術の導入等によりリサイクル率を向上させ廃棄物排出量及び総排水量の抑制を行います。
2. 作業の安全に心掛け、火気・臭気・排水に細心の注意を払い環境の汚染を防止します。
3. 環境関連法令等を遵守し、社内及びお客様・地域のみなさまが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. エコドライブや節電を実践し、二酸化炭素排出量の抑制に取り組みます。
5. 環境に配慮した製品や資機材の購入を推進します。
6. 化学物質を適正に管理します。
7. この環境方針を全社員に配布及び掲示し、環境への意識高揚を図るとともに、職場以外においても、行動指針を順守します。

キックオフ日：平成 25 年 1 月 5 日

改定日：平成 25 年 1 月 5 日

株式会社 オカムラ

代表取締役

岡村健志

目次

1. 環境方針および行動指針	2
2. 組織概要	4
2.1. 事業所概要	4
2.2. 事業内容（認証登録対象範囲）	4
2.3. 社有地（対象事業所）	5
◆ 本社・倉庫	5
◆ リサイクルセンター	5
◆ 車両整備所	5
◆ 熊本南営業所（クリクラ熊南）	5
◆ 対象事業所位置図	6
◆ 対象事業所位置図（熊本南営業所）	7
2.4. 組織図	8
2.5. 環境管理責任者氏名及び連絡先	8
2.6. 事業内容	9
◆ 一般廃棄物収集運搬業務	9
◆ 産業廃棄物収集運搬業務	10
◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務	11
◆ 一般廃棄物中間処理業務	11
◆ 産業廃棄物中間処理業務	12
◆ 産業廃棄物処理実績	13
◆ 処理工程図	13
3. 環境マネジメントシステム運営	18
3.1. 実施体制	18
3.2. 役割分担表	19
3.3. 環境目標	20
3.4. 環境活動計画	21
3.5. 環境目標の実績	22
3.6. 環境活動計画の取組状況とその判定	23
3.7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	24
3.8. 取組結果とその評価、次年度の取組内容	26
3.9. 代表者による全体評価と見直しの結果	27

2. 組織概要

2.1.事業所概要

事業所名	株式会社オカムラ
代表者	代表取締役 岡村 健志
住所	熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
TEL	0964-33-0131
設立年月日	昭和 61 年 5 月 16 日
従業員	202 名
資本金	1,000 万円

2.2.事業内容（認証登録対象範囲）

環境部_リサイクル課

一般・産業廃棄物収集運搬業
一般・産業廃棄物中間処理業
一般廃棄物処理業
産業廃棄物処理業

環境部_保全課

浄化槽・排水処理施設維持管理業
（し尿汲み取り業）
衛生器具レンタル業

総合管理部_施設管理課

ビル管理業
（管洗浄業）

総務営業部_営業課

飲料水販売業

総合管理部_指定管理課

公共施設指定管理業 ※対象範囲外

売上高 907,597 千円 （平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

※事業会計年度について

平成 28 年 10 月より事業会計年度を、毎年度 4 月～3 月から 10 月～9 月に変更しました。

※事業会計年度とエコアクションの取り組み年度について

エコアクションの取り組みは、4 月から 3 月でまとめます。

売上についても同様に、4 月から 3 月で計上することとします。

2.3.社有地（対象事業所）

◆ 本社・倉庫

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1 / 1953-1
 T E L 0964-33-0131
 F A X 0964-33-0985
 延べ床面積 964.28 m²/321.00 m²
 管 理 者 勝木 憲一



◆ リサイクルセンター

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1821-1 / 1822-1
 T E L 0964-27-8686
 F A X 0964-27-8700
 延べ床面積 2,097.00 m² / 512.83 m²
 管 理 者 竹口 功



◆ 車両整備所

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1707-2
 延べ床面積 331.43 m²
 管 理 者 吉川 博

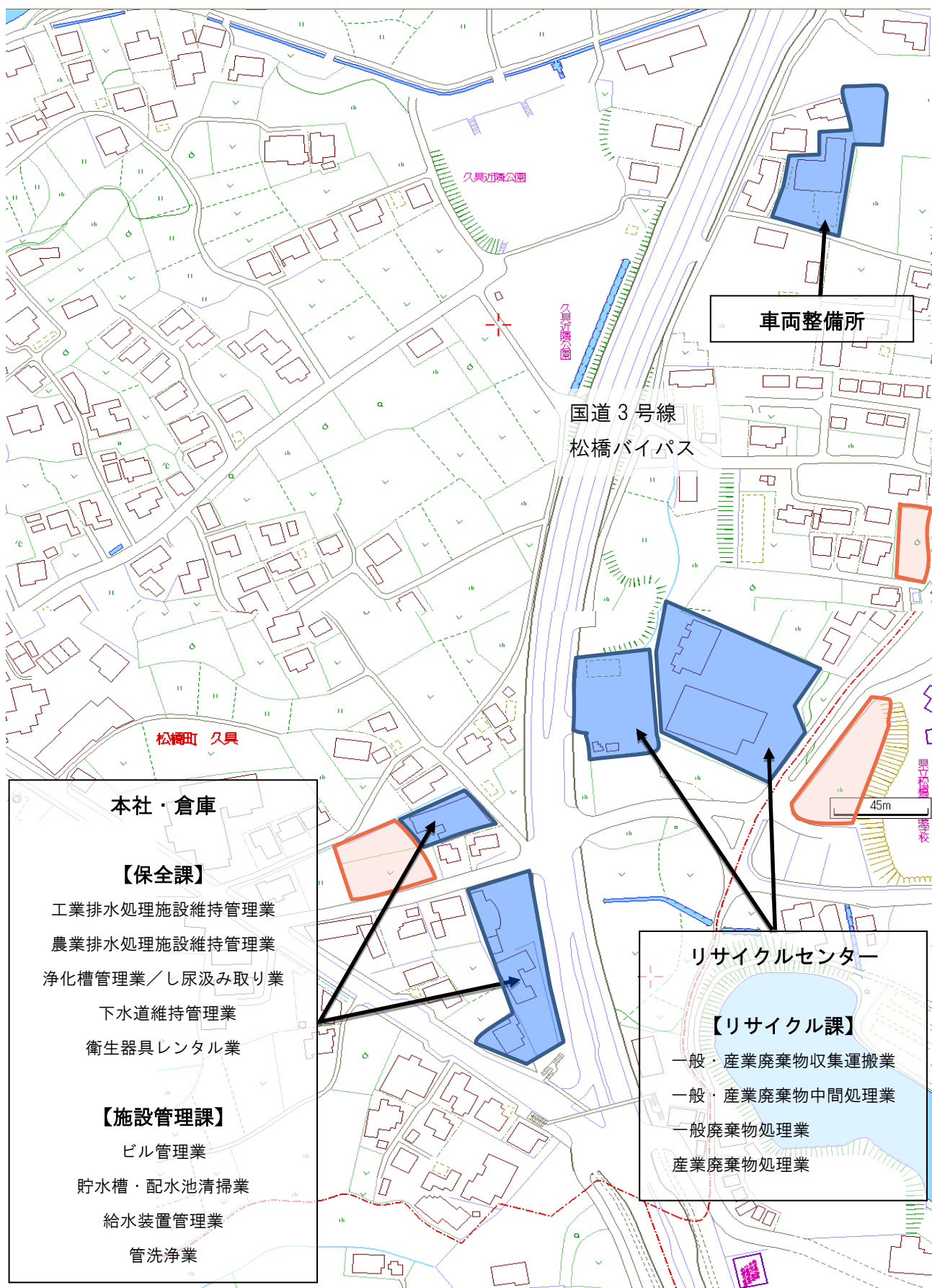


◆ 熊本南営業所（クリクラ熊南）

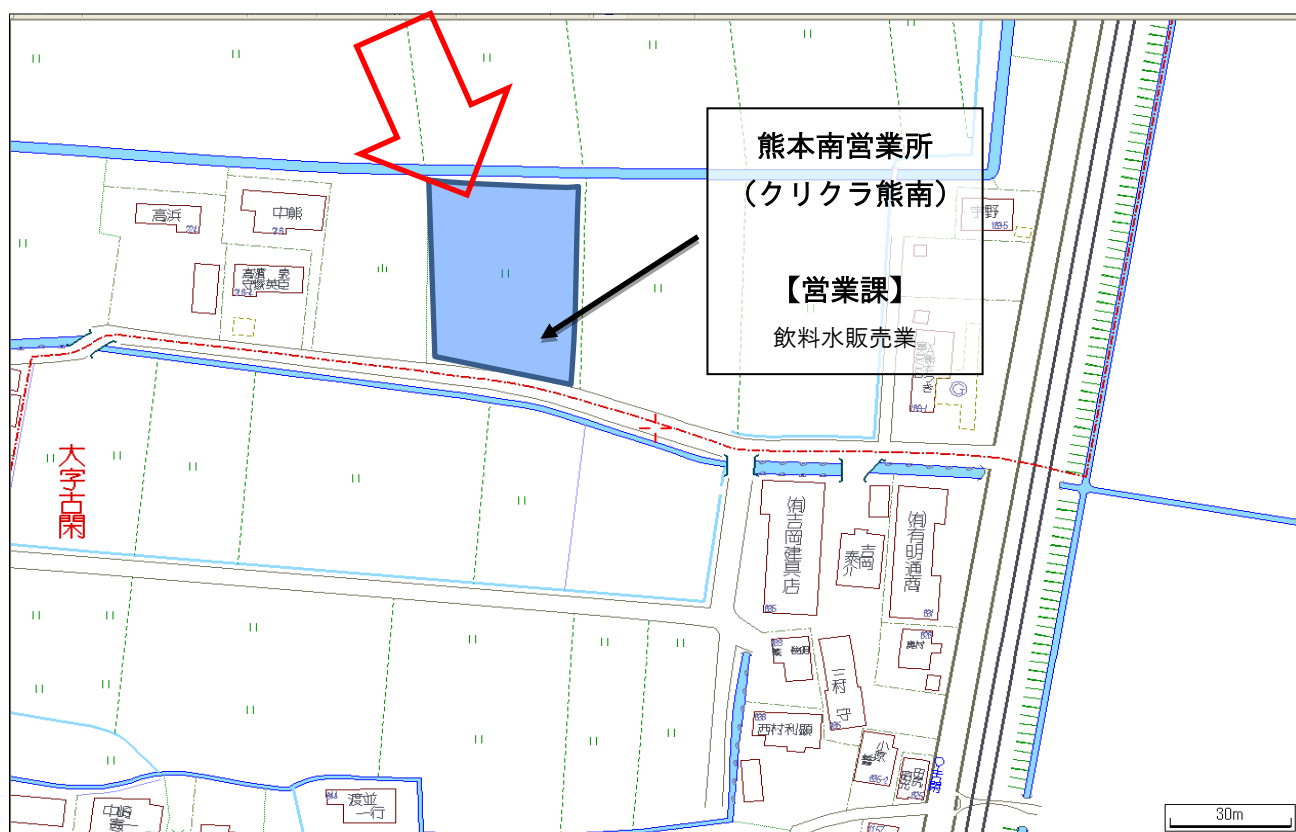
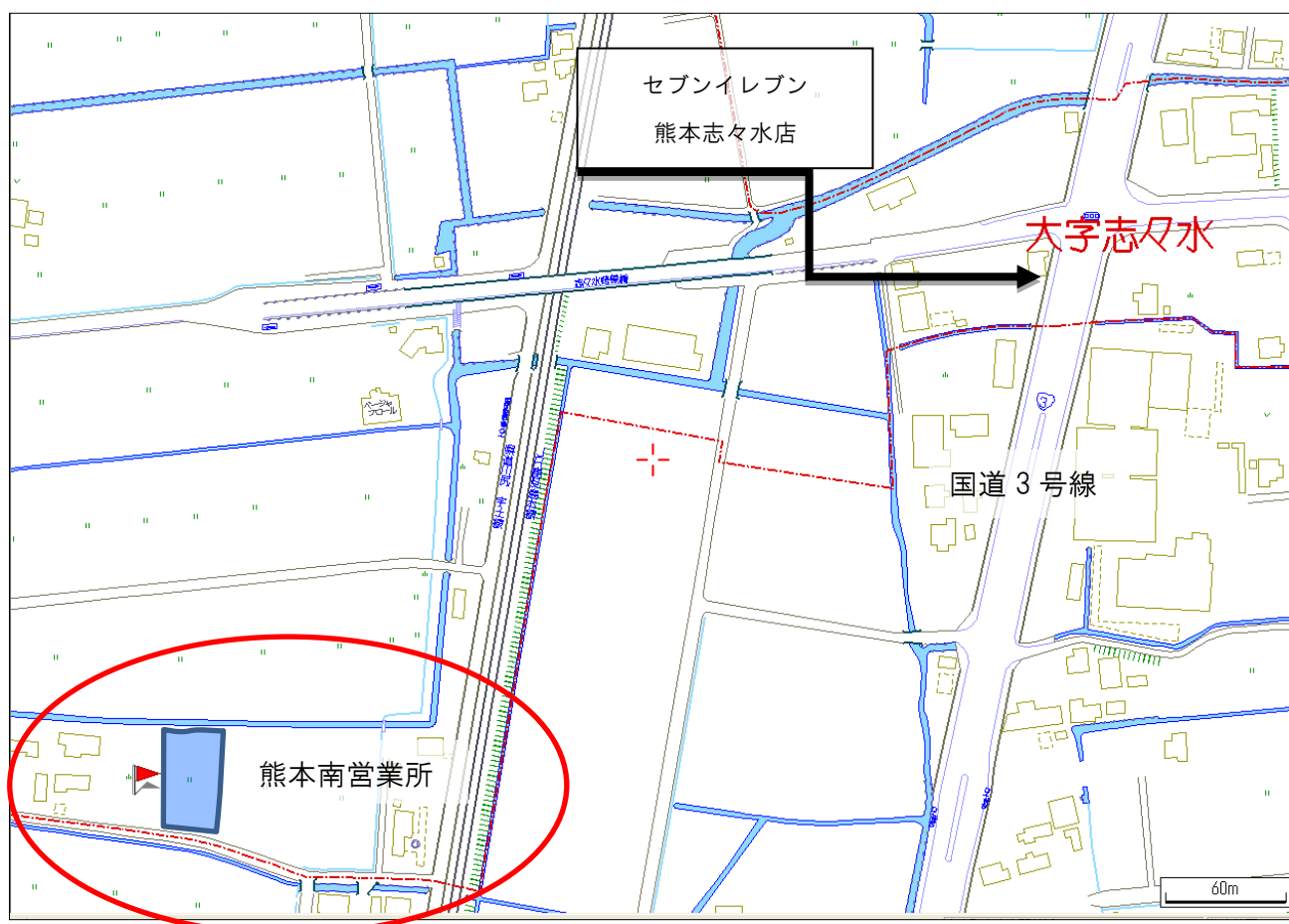
住 所 熊本県熊本市南区富合町志々水 191
 T E L 096-358-4466
 F A X 096-358-4467
 延べ床面積 105.00 m²
 管 理 者 甲斐 勝博



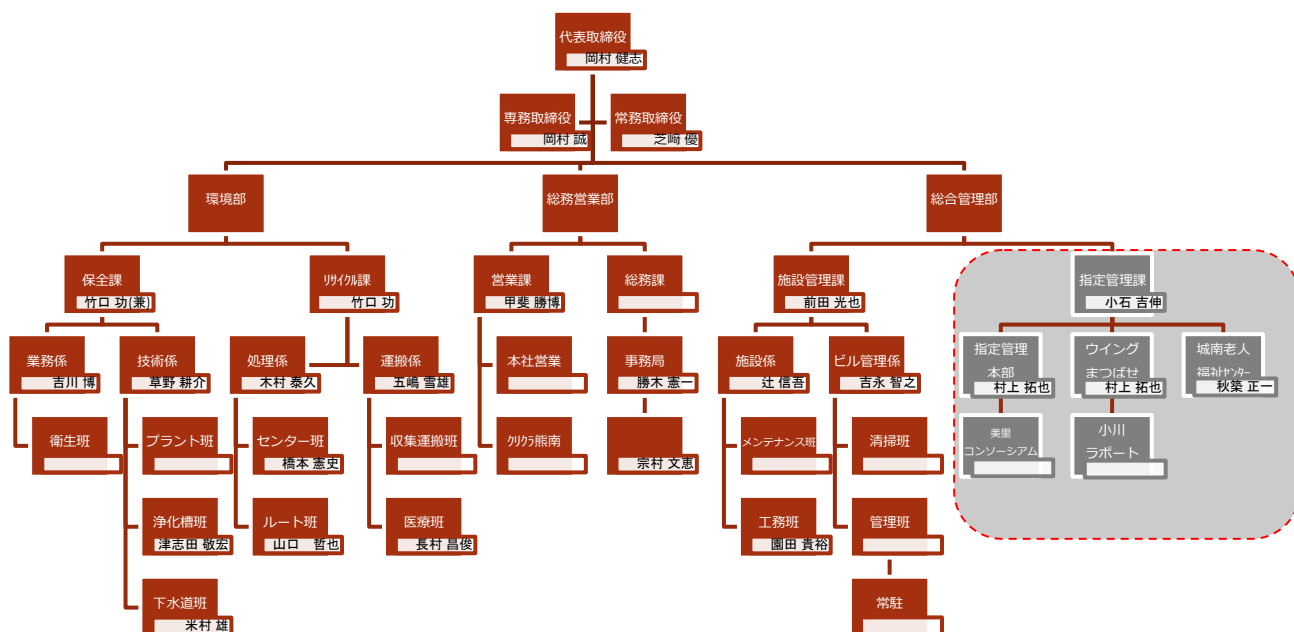
◆ 対象事業所位置図



◆ 対象事業所位置図（熊本南営業所）



2.4. 組織図



※指定管理業務を行っている『ウイングまつばせ・小川ラポート・城南老人福祉センター』は、対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

2.5. 環境管理責任者氏名及び連絡先

・環境管理責任者

常務取締役 芝崎 優

TEL：0964-33-0131

FAX：0964-33-0985

・副環境管理責任者

課長 竹口 功

TEL：0964-33-0131

FAX：0964-33-0985

2.6. 事業内容

◆ 一般廃棄物収集運搬業務

許認可等の種類	許認可番号等	登録車両番号	
一般廃棄物収集運搬業	【熊本市】 第 20R-140 号	熊本 800 す 9352 熊本 46 と 7767	熊本 800 せ 909
	【宇城市】 宇城市環第 846 号 ※し尿及び浄化槽汚泥を除く 一般廃棄物	熊本 800 す 5470 熊本 800 せ 1009 熊本 800 す 5471 熊本 800 す 7194 熊本 800 す 8386 熊本 100 す 5288 熊本 400 そ 9485 熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834 熊本 100 せ 9390 熊本 100 そ 2985 熊本 800 さ 3416	熊本 800 す 1265 熊本 800 す 4456 熊本 800 す 7013 熊本 800 せ 3707 熊本 400 た 2669 熊本 400 と 7958 熊本 100 は 2747 熊本 800 す 5330 熊本 100 せ 4800 熊本 800 せ 1218 熊本 400 な 5330 熊本 800 せ 348
	【宇城市】 宇城市環第 847 号 ※し尿及び浄化槽汚泥	熊本 800 す 5261 熊本 800 す 4176 熊本 800 さ 8466	熊本 800 せ 1091 熊本 800 さ 6518 熊本 800 せ 278
	【宇土市】 第 9 号	熊本 800 す 4456	熊本 800 せ 1009
	【氷川町】 氷町許可第 30-3 号	熊本 800 す 4456 熊本 100 せ 9390	熊本 800 す 7013
	【美里町】 美里環衛第 197 号	熊本 100 せ 4834 熊本 800 す 5471 熊本 800 す 4456 熊本 100 は 2747 熊本 400 そ 9485 熊本 100 す 5288	熊本 800 す 5470 熊本 800 す 5330 熊本 800 す 7013 熊本 100 そ 2985 熊本 400 た 2669 熊本 100 せ 4800
	【八代市】 許可（収）第 2-6 号	熊本 800 せ 1218 熊本 100 せ 9390	熊本 800 す 4456 熊本 800 す 7013

◆ 産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 04310004186 号		
登録車両番号	熊本 800 す 8584 熊本 100 そ 2985 熊本 400 た 2669 熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800 熊本 800 す 5471 熊本 800 は 2251	熊本 400 つ 8187 熊本 800 は 1896 熊本 100 す 5288 熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834 熊本 400 と 7958 熊本 88 ゆ 1902	熊本 100 せ 9390 熊本 400 そ 9485 熊本 100 す 7870 熊本 800 す 5330 熊本 100 は 4416 熊本 400 な 5330
事業区分	収集運搬業		
取り扱う産業廃棄物の種類	（積替え及び保管行為を含まない） 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、動物のふん尿、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（上記のうち、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等欄の「○」印があるものについては取扱いを含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以下余白		
	（積替え及び保管行為を含む） 金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、汚泥、廃プラスチック類（上記のうち、廃ランプ類、廃電池類、血圧計及び体温計に限り、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等欄の「○」印があるものについては取扱いを含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。以下余白		
	積替え又は保管を行う場所の所在地	宇城市松橋町久具微雨 1819 番	
	積替えのための保管上限	0.414 m ³	
	面積	2.15 m ²	
	（積替えを含み、保管行為を含まない） 汚泥（グリストラップ汚泥に限り、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等欄の「○」印があるものについては取扱いを含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。以下余白		
	積替えを行う場所の所在地	宇城市松橋町久具微雨 1820 番 1 の一部、1820 番 2 の一部	
	面積	140 m ² （車両から車両への積替えに限る。）	

許認可番号等	福岡県 第 04000004186 号		
登録車両番号	熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800 熊本 800 す 8584	熊本 100 せ 4834 熊本 100 は 4416 熊本 800 は 2251	熊本 100 す 7870 熊本 800 は 1896 熊本 88 ゆ 1902
事業区分	収集運搬業 （積替え、保管を含まない）		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等（以上 3 品目については、自動車等破砕物を除く。）、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ 以上 8 品目 以下余白		

許認可番号等	長崎県 第 04200004186 号		
登録車両番号	熊本 100 は 4416 熊本 100 せ 4800 熊本 800 す 8584	熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4834 熊本 800 は 2251	熊本 100 す 7870 熊本 800 は 1896 熊本 88 ゆ 1902
事業区分	収集運搬業 (積替え・保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。）（これらのうち自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上 8 種類		

◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 04350004186 号		
登録車両番号	熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834	熊本 800 す 5330 熊本 800 せ 3557	熊本 100 せ 4800
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃酸（水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物		

許認可番号等	福岡県 第 04050004186 号		
登録車両番号	熊本 100 せ 4800	熊本 100 せ 4834	
事業区分	収集運搬業 (積替え、保管を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃酸（水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物 以上 4 品目 以下余白		

◆ 一般廃棄物中間処理業務

許認可番号等	宇城市 宇城市環第 1023 号
取扱一般廃棄物の種類	し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物
選別	磁力選別機（5.0t 未満/8hr）手選別ベルトコンベア
溶融	1 施設（発泡スチロール 320 kg/8hr）
破砕	1 施設（5.0t 未満/8hr × 1 施設）
圧縮	1 施設（空き缶 5.0t 未満/8hr）
圧縮梱包	1 施設（廃プラ 80t/8hr）
減容	1 施設（ペットボトル 5.0t 未満/8hr）
その他	計量器 × 1 施設

◆ 産業廃棄物中間処理業務

許認可番号等	熊本県 許可番号 第 04320004186 号		
許可の年月日	令和元年 8 月 13 日		
許可の有効期限	令和 4 年 2 月 7 日		
処理方式	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力	
破 碎	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	紙 く ず 木 く ず 繊 維 く ず ゴ ム く ず 金 属 く ず ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 廃プラスチック類	4.04 t/日 (8h) 3.70 t/日 (8h) 1.21 t/日 (8h) 3.50 t/日 (8h) 3.80 t/日 (8h) 20.20 t/日 (8h) 4.71 t/日 (8h)
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2 外	設置年月日
圧 縮 ・ 梱 包	紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	紙 く ず 繊 維 く ず 金 属 く ず 廃プラスチック類	740.8 t/日 (8h) 106.4 t/日 (8h) 649.6 t/日 (8h) 769.6 t/日 (8h)
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1	設置年月日
分解 ・ 選別①	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	1.5 t/日 (8h)	
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1	設置年月日
分解 ・ 選別②	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	3.6 t/日 (8h)	
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2	設置年月日
減 容	廃プラスチック類（廃発泡スチロールに限り、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	0.32 t/日 (8h)	
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1	設置年月日
選別 ・ 圧縮	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	4.08 t/日 (8h)	
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2 外	設置年月日

廃棄物処理費につきましては、個別見積とさせていただきます。

◆ 産業廃棄物処理実績

廃棄物の収集運搬量・処分量

項 目		単 位	平成 30 年度	令和元年度
産業廃棄物	収集運搬量	t	1461.8	1681.4
	中間処理量	t	124.6	197.8
	うち再資源化等量	t	124.6	197.8
	最終処分量	t	0	0
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	0
	うち再資源化等量	t	0	0

◆ 処理工程図

産業廃棄物中間処理(リサイクル課)

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
排出事業者 (197.8t)	木くず (127.4t)	破碎	木チップ (127.4t)	燃料メーカー (127.4t)
	廃プラスチック類 (50.0t)	破碎	硬質プラチップ (50.0t)	再生原料メーカー (50.0t)
		圧縮・梱包	軟質プラプレス (0.0t)	
	紙くず (0.0t)	選別	古紙ベール (0.0t)	製紙メーカー (0.0t)
	繊維くず (1.5t)	圧縮	繊維ベール (1.5t)	2次処理業者 (1.5t)
	金属くず (15.9t)	圧縮	金属プレス (15.9t)	鉄鋼メーカー (15.9t)
	混合物 (0.0t)	分解選別①	※品目別に再選別 (0.0t)	2次処理業者 (0.0t)
		分解選別②		自社行程へ (0.0t)
	陶磁器くず (0.7t)	選別	再生碎石 (0.7t)	2次処理業者 (0.7t)
	ガラスくず (2.3t)	選別	ガラス原料 (2.3t)	2次処理業者 (2.3t)

※数量の誤差は、異物・ロスおよび受入時と出荷時で品目が異なることがあるため。
出荷数量が合算となっているものもあります。原料として概ね売却しています。

一般廃棄物中間処理(リサイクル課)

排出者	受入品目	処理方法		出荷品目	出荷先	
宇城市 委託処理分 一升びん・ビールびん (48千本) その他 (805.9t)	アルミ缶 (26.0t)	選別	圧縮	アルミプレス [A1]	鉄鋼メーカー (111.0t) [A1+A2]	
	スチール缶 (18.0t)			Cプレス [B1]	鉄鋼メーカー (66.5t) [B1+B2]	
	ペットボトル (34.1t)			ペットプレス [C1]	再生原料メーカー (150.0t) [C1+C2]	
	透明びん (44.1t)	選別		透明カレット [D1]	再生原料メーカー (97.2t) [D1+D2]	
	茶色びん (49.0t)			茶カレット [E1]	再生原料メーカー (125.6t) [E1+E2]	
	その他の色びん (13.6t)			その他カレット [F1]	一般廃棄物処理場 (7.9t) [F1+F2]	
	新聞・チラシ (164.3t)	選別	圧縮 梱包	新聞プレス [G1]	製紙メーカー (389.9t) [G1+G2]	
	雑古紙 (102.4t)			雑誌プレス [H1]	製紙メーカー (507.1t) [H1+H2]	
	段ボール (59.3t)			段ボールプレス [I1]	製紙メーカー (857.2t) [I1+I2]	
	生きびん (48千本)	選別		一升びん [J1]	酒造問屋 (21千本) [J1+J2]	
	古布 (38.4t)			ビールびん [K1]	酒造問屋 (63千本) [K1+K2]	
	プラスチック類 (49.6t)			ウエス [L1]	再生原料メーカー (86.7t) [L1+L2]	
	発泡スチロール (6.9t)	選別	圧縮 梱包	軟質プラプレス [M1]	再生原料メーカー (57.0t) [M1+M2]	
	金属類 (53.7t)	選別	圧縮	硬質プラプレス [N1]	再生原料メーカー (7.6t) [N1+N2]	
		選別・溶融		PSインゴット [O1]	再生原料メーカー (17.8t) [O1+O2]	
		選別		鉄 [P1]	鉄鋼メーカー (350.7t) [P1+P2]	
				非鉄 [Q1]	鉄鋼メーカー (53.0t) [Q1+Q2]	
	廃食油 (6.0t)	選別	圧縮	鉄プレス [R1]	鉄鋼メーカー (45.9t) [R1+R2]	
	粗大ごみ (140.5t)			非鉄プレス [S1]	鉄鋼メーカー (0.0t) [S1+S2]	
廃食油 [T1]				再生原料メーカー (8.0t) [T1+T2]		
			可燃ごみ	一般廃棄物処理場 (39.7t)		
			処理困難物	※上記各項目へ		

※数量の誤差は、異物・ロスおよび受入時と出荷時で品目が異なることがあるため。
出荷数量が合算となっているものもあります。

一般廃棄物中間処理(リサイクルセンター)

排出者	受入品目	処理方法		出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 一升びん・ビールびん (28千本) リサイクル家電 (628台) その他 (2,364.6t) ※次頁含む ※単位違いの為 それぞれに表示	アルミ缶 (101.5t)	選別	圧縮	アルミプレス [A2]	鉄鋼メーカー (111.0t) [A1+A2]
	スチール缶 (34.5t)			Cプレス [B2]	鉄鋼メーカー (66.5t) [B1+B2]
	ペットボトル (93.7t)	選別		ペットプレス [C2]	再生原料メーカー (150.0t) [C1+C2]
	びん類 (68.7t)			透明カレット [D2]	再生原料メーカー (97.2t) [D1+D2]
				茶カレット [E2]	再生原料メーカー (125.6t) [E1+E2]
				その他カレット [F2]	一般廃棄物処理場 (7.9t) [F1+F2]
	飲料容器混合 (57.8t)				
	新聞紙・チラシ (229.4t)	選別	圧縮 梱包	新聞プレス [G2]	製紙メーカー (389.9t) [G1+G2]
	雑古紙 (254.6t)			雑誌プレス [H2]	製紙メーカー (507.1t) [H1+H2]
	段ボール (870.4t)	選別		段ボールプレス [I2]	製紙メーカー (857.2t) [I1+I2]
	古紙その他 (113.5t)			その他(古紙)	一般廃棄物処理場 (13.0t)
	一升びん(本) (6千本)			一升びん [J2]	酒造問屋 (21千本) [J1+J2]
	ビールびん(本) (22千本)			ビールびん [K2]	酒造問屋 (63千本) [K1+K2]
	古布 (15.7t)	選別	圧縮 梱包	ウエス [L2]	再生原料メーカー (86.7t) [L1+L2]
	プラスチック類 (66.5t)			軟質プラプレス [M2]	再生原料メーカー (57.0t) [M1+M2]
	発泡スチロール (9.2t)	選別・溶融		硬質プラプレス [N2]	再生原料メーカー (7.6t) [N1+N2]
	鉄類 (126.3t)	選別	圧縮	PSインゴット [O2]	再生原料メーカー (17.8t) [O1+O2]
				鉄 [P2]	鉄鋼メーカー (350.7t) [P1+P2]
	非鉄類 (18.1t)	選別	圧縮	鉄プレス [R2]	鉄鋼メーカー (45.9t) [R1+R2]
				非鉄 [Q2]	鉄鋼メーカー (53.0t) [Q1+Q2]
	廃食油 (1.2t)	選別		非鉄プレス [S2]	鉄鋼メーカー (0.0t) [S1+S2]
	雑品他 (47.3t)			廃食油 [T2]	再生原料メーカー (8.0t) [T1+T2]
	不燃ごみ (38.8t)			その他雑品	一般廃棄物処理場 (0.8t)
				不燃ごみ(ガラス他)	一般廃棄物処理場 (48.8t)

※次ページへ続く

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 一升びん・ビールびん (28千本) リサイクル家電 (628台) その他 (2,364.6t) ※前頁含む	木くず (67.4t)	選別 破碎	木くずチップ	燃料メーカー (202.5t)
	可燃ごみ (108.9t)	選別	木くずその他	一般廃棄物処理場 (12.0t)
	その他プラ (1.8t)		可燃ごみ	一般廃棄物処理場 (163.2t)
	その他金属 (2.1t)		その他プラ(PP他)	一般廃棄物処理場 (112.5t)
	混合物他 (37.2t)		その他金属(モーター他)	鉄鋼メーカー (4.3t)
	家電リサイクル品 (628台)		※上記各項目へ	※上記各項目へ
			家電リサイクル品	指定集荷場所 (628台)

※数量の誤差は、異物・ロスおよび受入時と出荷時で品目が異なることがあるため。
出荷数量が合算となっているものもあります。

一般廃棄物収集運搬量

品目	数量
飲料容器類	178.0 t
古紙類	714.4 t
鉄類	19.5 t
非鉄類	10.0 t
木くず類	24.3 t
可燃ごみ	2,518.2 t
プラスチック類	22.2 t
不燃物類	11.8 t
その他金属	0.3 t
混合物他	13.8 t
生きビン類	155 本
家電リサイクル品	628 台

※持込を除く自社運搬量

産業廃棄物収集運搬量

品目	数量
ガラス・陶磁器	40.6 t
汚泥	1,083.5 t
金属くず	12.9 t
廃酸	0.9 t
廃アルカリ	2.6 t
木くず	175.7 t
繊維くず	1.2 t
廃プラスチック類	145.1 t
動植物性残渣	54.1 t
感染性廃棄物	164.8 t

許可一覧

許認可等の種類	許認可等番号	有効期限	
建築物飲料水貯水槽清掃業	熊本県 10 貯第 2 号	H28.10.01～H34.09.30	熊本県
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 16 総第 3 号	H28.10.01～H34.09.30	熊本県
建築物ねずみ昆虫等防除	熊本県宇保 21 ね第 1 号	H27.06.30～H33.06.29	熊本県
浄化槽保守点検業	熊本県知事 (1) 第 101 号	R01.10.01～R04.09.30	熊本県
浄化槽清掃業	宇城市環第 860 号	R02.04.01～R04.03.31	宇城市
産業廃棄物収集運搬業	第 04310004186 号	R01.10.28～R05.07.04	熊本県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 04350004186 号	H30.07.04～H37.06.29	熊本県
産業廃棄物収集運搬業	第 04000004186 号	H30.09.13～H37.09.12	福岡県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 04050004186 号	H30.09.03～H37.09.02	福岡県
産業廃棄物収集運搬業	第 04200004186 号	H30.04.25～H35.04.24	長崎県
産業廃棄物処分業 (中間処理)	第 04320004186 号	R01.08.13～R04.02.07	熊本県
一般廃棄物処理業 (中間処理)	宇城市環第 1023 号	R02.04.01～R04.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 20 R-140 号	R02.04.01～R04.03.31	熊本市
一般廃棄物収集運搬業 ※ ₁	宇城市環第 846 号	R02.04.01～R04.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業 ※ ₂	宇城市環第 847 号	R02.04.01～R04.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 9 号	R02.06.01～R04.05.31	宇土市
一般廃棄物収集運搬業	氷町許可第 30-3 号	H30.07.01～H32.06.30	氷川町
一般廃棄物収集運搬業	美里環衛第 197 号	H31.04.01～H33.03.31	美里町
一般廃棄物収集運搬業	許可 (収) 第 2-6 号	R02.04.01～R04.03.31	八代市
一般建設業	許可 (般 - 28) 第 18081 号	H28.09.12～H33.09.11	熊本県
古物商	第 931170000898 号	H21.03.03	熊本県

※₁ し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物

※₂ し尿及び浄化槽汚泥

● 車両の状況

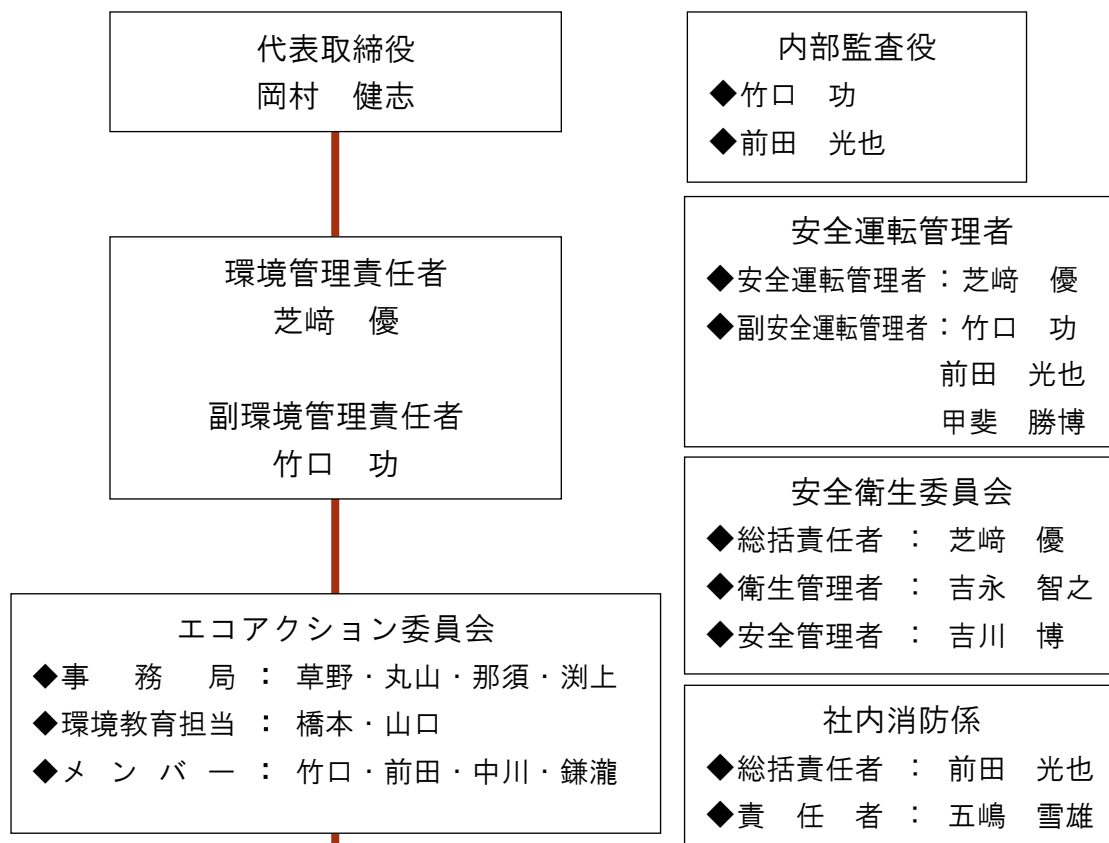
(種類・台数)

車両の種類	台数	車両の種類	台数
塵芥車	15 台	清掃車	6 台
バン	24 台	糞尿車	6 台
冷凍冷蔵車	3 台	ダンプ	1 台
脱着装置付コンテナ専用車	7 台	キャブオーバー	12 台
ユンボ	3 台	フォークリフト	3 台
その他	3 台		

計：83 台 (令和 2 年 5 月 31 日現在)

3. 環境マネジメントシステム運営

3.1. 実施体制



	電気担当	燃料担当	水道担当	排水担当	廃棄物 担当	グリーン 購入担当
リサイクル課	深井	深川	山田	古川	山口	丸山
リサイクルセンター (リサイクル課) ※ ₁	橋本	坂田	中村	中村	陣野	—
保全課	結島	石川	中川	津志田	徳永	—
施設管理課	今元	吉永	鎌瀧	鎌瀧	西小路	—
指定管理課 ※ ₂	小石	村上	内田	内田	河野	槌田
総務課・営業課 (本社事務所)	勝木	宗村	木下	淵上	前田	勝木
熊本南営業所 (クリクラ熊南)	那須	紫垣	澤谷	尾上	三浦	—

※₁ リサイクルセンター…リサイクル課ですが作業場が完全別棟のため各担当を分けております。

※₂ 指定管理課…対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

3.2. 役割分担表

代表取締役	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者の任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	EA21 委員会の委員長として委員会の運営 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 環境目標・環境活動計画書の確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
EA21 委員会	環境管理責任者の補佐 / 環境活動目標及び年間計画の検討 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境関連文書及び記録の作成管理 環境活動計画の実施・実績集計及び達成状況の報告 従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開 / その他 EA21 に関する業務
事務局	関係者（各部門責任者、事務担当者等）を適宜召集し環境経営システムの運用上必要となる諸事項に対応 環境経営システム運用状況の把握、課題整理 EA21 委員会での検討内容の計画立案
内部監査役	環境経営システムの適合性及び運用状況の監査
安全衛生委員会	従業員の危険又は健康被害を防止するための対策を講じる
安全運転管理者	車両管理、事故防止、事故後の対応及び安全運転に関する指導、教育
環境教育担当	全従業員に対して環境方針の周知を図るとともに環境教育を計画的に行う
電気担当	担当部署に対し部署に電気の節約を呼びかける
燃料担当	担当部署に対し部署毎に燃料（ガソリン、軽油、灯油）の節約を呼びかける
水道担当	担当部署に対し水の節約を呼びかける
排水担当	担当部署の排水状況を定期的に確認する
廃棄物担当	担当部署に対しごみの分別、削減を呼びかける
グリーン購入担当	再生原料を使用したものを選定しグリーン購入を推進する
全従業員	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動を推進

3.3. 環境目標

● 中期（3 か年）環境目標（平成 30 年度～令和 2 年度）

（事業年度：4 月～3 月）

環境目標項目		単位	平成 29 年度 (実績・基準)	平成 30 年度 (目 標)	令和元年度 (目 標)	令和 2 年度 (目 標)
電力使用量の削減		kwh	134,774	134,774	134,774	134,774
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	32,900	32,900	32,900	32,900
	軽油	L	120,694	120,694	120,694	120,694
CO ₂ 排出量削減		kg-CO ₂	465,057	465,057	465,057	465,057
水使用量の削減 ※洗車は井水利用		m ³	559	559	559	559
一般廃棄物の排出量削減		t	2.1	2.1	2.1	2.1
受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率 100%推進		—	推進する	推進する	推進する	推進する
グリーン購入率の向上		—	環境対応に適合した商品を選定する	環境対応に適合した商品を選定する	環境対応に適合した商品を選定する	環境対応に適合した商品を選定する
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
社会貢献・清掃活動実施		回	9	9	9	9

※ 電力の排出係数：平成 23 年（0.525kg-CO₂/kwh）を使用

3.4. 環境活動計画

環境活動計画と部署毎の実施項目

環境目標項目		環境活動計画 (具体的活動)	適用範囲				適用 除外
			本社・倉庫	リサイクル センター	車両整備所	熊本南営業所 (クリクラ熊本)	指定管理課 各常駐先
電力使用量の削減		ノー残業デー実施 (毎月 第2・3水曜)	○	○	○	○	○
		不要な照明とエアコンは使用しない	○	○	○	○	△
		エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時28℃、暖房時 20℃に設定する (温度計設置)	○	○	○	○	△
化石燃料使用量の削減	ガソリン	急発進・急ブレーキをしない	○	○	○	○	—
		給油量及び走行距離の把握・記録	○	○	○	○	—
	軽油	急発進・急ブレーキをしない	○	○	○	—	—
		給油量及び走行距離の把握・記録	○	○	○	—	—
水使用量の削減 ※洗車は井水利用		水道メーター定期確認	○	○	—	—	○
		こまめな蛇口の開閉	○	○	○	○	○
一般廃棄物の排出量削減		ペットボトルラベル・ビニール袋の分別徹底	○	○	○	○	○
受託産業廃棄物(中間処理)のリサイクル率 100%推進		排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	—	○	—	—	—
購入率の グリーン	コピー用紙	環境対応に適合した商品を選定する	○	▽	▽	▽	○
	トイレットペーパー	再生原料を使用した商品を選定する	○	▽	▽	▽	○
化学物質の適正管理		購入前に化学物質含有量等の確認を行う	○	—	○	—	—
		保管状況の確認を定期的に行う	○	—	○	—	—
社会貢献・清掃活動実施		積極的かつ計画的に取り組む	○	○	○	○	○

○：実施 △：出来るだけ実施 ▽：間接実施

※指定管理課および各常駐先については適用範囲外ですが、環境に配慮した運営を行っております。

3.5.環境目標の実績

令和元年度環境目標の実績

(事業年度：4月～3月)

環境目標項目		単位	平成 29 年度 (実績・基準)	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)	令和元年度 (目標達成率)
電力使用量の削減		kwh	134,774	134,774	111,123	121%
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	32,900	32,900	40,568	81%
	軽油	L	120,694	120,694	137,240	87%
	灯油	L	412	412	0	—
	LP ガス	kg	56	56	48	116%
CO ₂ 排出量削減		kg-CO ₂	465,057	465,057	512,833	90%
水使用量の削減 ※洗車は井水利用		m ³	559	559	742	75%
一般廃棄物の排出量削減		t	2.1	2.1	2.2	95%
受託産業廃棄物(中間処理)の リサイクル率 100%推進		—	推進する	推進する	推進した	—
グリーン購入率の向上		—	環境対応に適合した商品を選定する	環境対応に適合した商品を選定する	環境対応に適合した商品を選定した	—
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	—
社会貢献・清掃活動実施		回	9	9	15	166%

※電力の排出係数：平成 23 年 (0.525kg-CO₂/kwh) を使用

3.6. 環境活動計画の取組状況とその判定

評価期間：平成31年4月～令和2年3月

判定 ○：できた △：不足 ×：できていなかった ▽：間接実施

環境目標項目			環境活動計画 (具体的活動)	適用範囲				適用 除外
				本社・倉庫	リサイクル センター	車両整備所	熊本南営業所 (クリクラ熊本)	指定管理課 各常駐先
電力使用量の削減			ノー残業デー実施 (毎月 第2・3水曜)	○	○	○	○	○
			不要な照明とエアコン は使用しない	○	○	○	○	△
			エアコンの設定温度は 室温を基準とし、冷房 時 28℃、暖房時 20℃ に設定する (温度計設置)	○	○	○	○	△
化石燃料 使用量の 削減	ガソリン	急発進・急ブレーキを しない	○	○	○	○	—	
		給油量及び走行距離の 把握・記録	○	○	○	○	—	
	軽油	急発進・急ブレーキを しない	○	○	○	—	—	
		給油量及び走行距離の 把握・記録	○	○	○	—	—	
水使用量の削減 ※洗車は井水利用			水道メーター定期確認	○	○	—	—	○
			こまめな蛇口の開閉	○	○	○	○	○
一般廃棄物の排出量削減			ペットボトルラベル・ビニール 袋の分別徹底	○	○	○	○	○
受託産業廃棄物 (中間処理) の リサイクル率 100%推進			排出事業者様への情報 提供を行い、リサイク ル処理を促す	—	○	—	—	—
購入率 の グリーン	コピー用紙		環境対応に適合した商 品を選定する	○	▽	▽	▽	○
	トイレットペーパー		再生原料を使用した商 品を選定する	○	▽	▽	▽	○
化学物質の適正管理			購入前に化学物質含有 量等の確認を行う	○	—	○	—	—
			保管状況の確認を定期 的に行う	○	—	○	—	—
社会貢献・清掃活動実施			積極的かつ計画的に取り 組む	○	○	○	○	○

※除外範囲の指定管理課および各常駐先についても同様に評価を行っております。

3.7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

区分	関連法規・条例等	該当部署・施設	要求事項・対応策	遵守状況
排水	下水道法	全部署	有害物質を排出していない	○
			違法接続をしていない	○
	水質汚濁防止法	保全課	定められた基準値以下で排水している	○
	浄化槽法	保全課	定められた基準値以下で排水している	○
			点検を必要回数実施している	○
			年1回以上の清掃を実施している	○
	熊本県生活環境保全条例	保全課	定められた基準値以下で排水している	○
安全衛生	労働安全衛生法	全部署	社内委員会を設置している	○
			健康面の管理（インフルエンザ対策等）	○
			安全対策	○
			職場環境の整備（照明等の管理）	○
産業廃棄物	廃棄物処理法 （収集運搬業者として） 熊本県産業廃棄物指導要綱より	リサイクル課	飛散、流出防止	○
			車両ステッカーの表示	○
			収集運搬車両に許可証の携帯	○
			収集運搬業許可証期限	○
	廃棄物処理法 （排出事業者として） 熊本県産業廃棄物指導要綱より	リサイクル課	産業廃棄物処理委託契約書の締結	○
			収集運搬業許可証確認	○
			処分業許可証確認（二次処理先）	○
			マニフェスト交付	○
			マニフェスト交付状況報告書提出	○
	廃棄物処理法 （処分業者として） 熊本県産業廃棄物指導要綱より	リサイクル課	維持管理の記録	○
			設備等に関する基準（毎日確認）	○
			飛散、防止	○
			報告（搬入量、出荷量）	○
環境	フロン排出抑制法	全部署	簡易点検 （すべての業務用冷凍空調機器）	○

区分	関連法規・条例等	該当部署・施設	要求事項・対応策	遵守状況
一般廃棄物	廃棄物処理法 (収集運搬業者として)	リサイクル課	各自治体(市町村)の収集運搬業許可証	○
	再生資源の利用の促進に関する法律	全部署	第4条(事業者の責務)紙類、飲料缶、ペットボトル、飲料瓶、など分別を行い、再生資源化を行っている	○
騒音規制法	熊本県産業廃棄物指導要綱	リサイクル課	時間:8:00~19:00 第3種区域 65 ホン 処理施設の敷地境界線で遵守する	○
振動規制法	熊本県産業廃棄物指導要綱	リサイクル課	時間:8:00~19:00 第2種区域 65 デシベル 処理施設の敷地境界線で遵守する	○
悪臭防止法	熊本県産業廃棄物指導要綱	リサイクル課	悪臭の基準は敷地境界線において悪臭物質の種類別の濃度の基準を遵守する	○
			悪臭が発生する廃棄物の受入なし	○
			処理工程においても悪臭は発生しない	○
交通	道路交通法、道路法	全部署	積載基準の遵守	○
廃棄物	家電リサイクル法	リサイクル課	【テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機】 自治体指定の方法で引取り運搬する	○
産廃	優良産廃処理業者制度運用 マニュアル	リサイクル課	エコアクション21等の認証取得処理業者を処理委託先の選択判断基準のひとつとする	○
			産業廃棄物収集運搬業優良認定取得	○
			産廃ネットに情報公開	○
消防	消防法	リサイクル課	指定可燃物の取扱い【法9条の4】市町村条例(火災予防条例)で定める(準則)指定数量の5倍以上の場合、あらかじめ消防長(消防署長)に届出	○
			消防用設備点検	○
		全部署	年1回の消防訓練	-

環境関連法規の遵守状況は特に問題なく違反、訴訟等はなかった。

3.8. 取組結果とその評価、次年度の取組内容

● 電力使用量の削減

全社的に年間を通して目標を達成することができた。本社においては新社屋移行に伴いパソコンや照明が増加したが、LED 電灯、最新型エアコンやペアガラスの採用により以前より電力消費が減少したと考えられる。リサイクルセンターにおいても省電力の意識向上に取り組めた。今後はデマンド管理の導入や、ノー残業デーの増加を実施してさらなる電力の削減に努めていく。

● 化石燃料使用量の削減

ガソリン使用量の削減

本社、リサイクルセンターにおいては目標達成もしくは目標並という結果となったが、南営業所の業務、人員、車両の増加により目標値を上回る結果となった。今後についてはルートの効率化等、業務量の増加を加味した目標値の設定をのり的確な考察が行える体制を整えたい。

軽油使用量の削減

リサイクルセンターでの新規事業による業務、人員の増加や繁忙期により給油量が増加した。軽油についてもガソリン同様、業務量の増加を加味した目標値の設定をのり的確な考察が行える体制を整えたい。

● 水使用量の削減

目標値を上回ってしまう結果となった。要因としては新社屋建設工事や人員増加、リサイクルセンターの井水から上水への移行、南営業所の業務量増加に伴うサーバー洗浄が増えたこと等が挙げられる。節水への意識をより高めると同時に、化石燃料と同様に目標設定を検討して削減に努めていく。

● 一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減

新事務所での片付けや南営業所の業務量増加に伴うサーバー洗浄での廃棄物増加が影響して、目標値をわずかに上回る結果となった。全体的に分別の徹底が浸透して実行できているが、時折不十分なケースも確認されるので周知徹底の強化に努めていく。

● 受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率 100% 推進

受託産廃は最終処分を行わないため、リサイクル率 100% を維持している。（2 次処理を除く）長期的に計画し自社で最終処分（有償売却）を行えるように販路拡充や設備投資等も視野に入れて取り組みたい。

● グリーン購入率の向上

トイレットペーパーについては、再生原料を使用した製品の購入率 100% を維持している。

● 化学物質の適正管理

全部署で適正に使用し保管管理している。化学物質を含む製品について、MSDS を取り寄せて常時閲覧できる状態で、使用状況や在庫管理も記録している。また、PRTR 法に該当する化学物質の取り扱いはなかった。

● 社会貢献・清掃活動実施

清掃活動は各部署で年間スケジュールを組み自主的に行うよう心掛けているが、実施できていない活動があった。宇城市環境保全隊での清掃活動に参加し地域の環境美化に貢献できた。

3.9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度もエコアクション委員会のメンバーを中心に良い取り組みができたと評価しています。

このエコアクションに対する取り組みも7年目を終え、社員やスタッフにもルールが定着してきたと思います。今後はこれまでの取り組みを継続しつつ、新たな取り組みを行うにあたり、どうすればより効率よく徹底できるのかなど、これまでのノウハウと経験を生かし、次につながる仕組み作りにも取り組んで欲しいと思います。



人と、街を、もっと笑顔に。

OKAMURA

<http://www.okamura-tmc.co.jp>